

ていさく 貞作通信



「しっかり発言、きちんと報告します」 市政に関する、ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。メールアドレス
kyousankaneko@yahoo.co.jp

大久保市長に要望書を渡す党市議団、中央が市長、左側が私市役所市長室



市長に予算要望書を提出

日本共産党市議団

日本共産党議員団の私、谷藤利子・桜井雅人・清水みな子・高坂進議員の5名は昨年11月、市役所市長室で、大久保市長に「2013年度市川市予算編成に対する要望」を手渡し、懇談しました。

市役所は、13年度予算編成作業の準備をすすめています。この時期に日本共産党議員団は、市民の声をまとめ、市長に新年度予算に対する要望を申し入れたものです。要望の項目は、全部で247項目に及んでいます。

懇談で私は、予算要望の重点内容について、市長に説明しました。市長は「財政が厳しい」ことを強調しながらも、要望は「各担当課に渡し、後日回答する」と述べました。



交通事故の2割が自転車関係。利用ルールの徹底とともに自転車専用通行帯の整備が求められています。私は12月市議会一般質問で、安心・安全な自転車道の整備を求めました。

自転車は、身近な移動手段として、また健康や環境意識の高まりの中で市民の利用が増えていきます。「平成27年開通」を目指して工事を進めている外環道路と都市計画道路3・4・18号。安全に走行する自転車道の整備について、質問しました。

外環道路の自転車道

道路交通部長は「外環は国に確認したところ、国のガイドラインを踏まえ、現計画の自転車歩行者道に自転車空間確保について、市川市と調整しながら検討したいとの報告があった」と答弁しました。



外環道路の自転車歩行者道イメジ(国交省のホームページ)



安心・安全な自転車道の整備を求めます

3・4・18号自転車道

3・4・18号道路(大柏川沿い)は、「工事中道路は、歩道幅員は5・5mで、内訳は植樹帯1・5m、自歩道は4m。路面表示など工夫を凝らし安全対策に努める」と述べ、「既存の道路は、歩道4mで植樹帯などで有効幅員が2m〜3mとなっている。現地を調査し、段差解消や植樹帯も可能な範囲で対策を講じていく」と答弁しました。



東菅野付近の工事中道路



下貝塚付近の道路

耐震不足で、補強も難しいと舎建て替えを検討中の市川市。昨年、党市議団



勤労福祉センターの会議室で報告(中央)

は建て替え問題で市民との意見交換会を行いました。最初に私が庁舎建て替え問題の経緯と党市議団の議会論戦について報告。その後、市民から質問や疑問など貴重な意見が多数寄せられました。

金子貞作市議 昨年一般質問のテーマ

【2012年2月市議会】

消費税増税の本市影響・ふるさと納税事務の簡素化、市民協働によるサービス北千葉道路と本市への影響について外環代替地の活用、市の考えについて国分川調節池の現状と上部活用について

【2012年6月市議会】

市長の原発認識及び自然エネルギー普及・拡大、食料品の検査体制について公契約条例制定のその後の検討について市川大野駅の安全対策及び案内板設置特別養護老人ホームの増設計画及び認知症対応の基盤整備について外環代替地の用地確保を求める考え

【2012年9月市議会】

農業後継者育成、ハウス栽培農家への支援、直売所設置の考えについて地下駐輪場利用時間、労働者の処遇改善万葉植物園通りの排水対策について不交付団体に対する市の考えについて市街化調整区域の違法建築対策について

【2012年12月市議会】

住宅密集地の木造住宅耐震補強の促進外環道路や3・4・18号の自転車道整備大町地域のバス路線の対応、及びコミュニティバスの大町地域への延伸について公有地に特養ホーム保育園建設の考え高齢者対象の健康教室の拡充について

11年3月の大震災でブロック塀が傾いた家(当時の浦安市内)



【市川市耐震制度：S56年以前の建物対象】

住宅耐震診断 限度額 8万円
耐震改修設計5万円・改修40万円限度、同時に改修・リフォームに23万円助成
危険ブロック塀、道路中心線から2mセットバックが条件、ブロック撤去費及びフェンス設置1m、2万円限度助成

制度の見直しを検討する

市川市も条件緩和を含め、制度の見直しを

また、他の議員質問に「住宅防災リフォーム助成制度充実を図る」考えも示しました。

直しを求めました。新宿区では4m未満の未接道についても、危険なブロック塀を撤去すれば、車庫などあっても改修時にはセットバックする確約書を提出させる柔軟な対応を可能にする見直しを行っています。

検討する考えはないかとの質問に対し、街づくり部長は「密集地区で制度の活用がすすむようアンケートの実施を行い、新宿区など他市の事例を参考に、助成制度のあり方について検討を進めていく」と答弁しました。

住宅密集地での耐震対策を急げと質問ー検討を約束

市内には住宅密集地区が22か所189haあり、木造住宅の耐震補強は喫緊の課題です。しかし、現状では進んでいません。12月市議会で、木造住宅の耐震補強の促進やコンクリートブロック塀も含めた制度の見直しを求めました。



小中学生のいる家庭では就学援助制度の活用を

=生活困難な方、だれでも申請できます=



就学援助制度は、「義務教育は無償」とした憲法26条の關係法に基づいて補助する制度です。子育て世代は、非正規雇用の広がりのもとで、収入が激減し、就学援助の受給者が増えています。

生活保護世帯に準ずる程度にお困りの方に、就学奨励費・学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・学校給食費・体育実技用具費(中学校のみ)を援助しています。申請は、学校にある申請書に必要事項を書き、所得を証明する書類を添えて学校に提出します。

申請手続きの改善を

日本共産党は、9月議会で、周知の徹底と書き方例や返信用封筒をつけるなど申請手続きの改善を求めました。

教育総務部長は「周知に努める」、手続きは「個人情報取り扱い、申請者の心情なども考慮しながら検討する」と答弁しました。

編集後記

今年には知事選、参院選、市長選と続きます。政治のゆがみを正し、住民が主人公の政治に向けて、頑張ります。そして、住みよい郷土・市川市をつくるため、心新たに取り組んでまいります。本年もよろしくお願ひします。

お気軽に相談を

仕事
くらしの
悩み

連絡先 金子貞作 337-6184(夜間)

